

SL エスエル 医療グループ ニュース

No.166 2024.4

発行所 名古屋市中区新栄町1-3 エスエル医療グループ 編集部(鈴木・大野・吉田・玉井・森川・金子) 発行日 2024年4月1日



「水辺」
颯田圭子氏

今月のことば

花粉症がつかい季節ですね。花粉症のピークは一般的に2月から4月までと思われていますが、意外と量も種類も多いのが5月です。2024年春は東海地方でもスギ・ヒノキ花粉の大量飛散が予想されるため、飛散期間も長くなる可能性があります。かくいう私も花粉症歴が長く、ひどいときは鼻呼吸が全くできなくなり、新型コロナ感染症ではありませんが、匂いも味もわからなくなることがあります。日常生活での工夫として、花粉の飛散量が多い時期の外出を控える、外出時にはマスクや眼鏡の着用、帰宅後の洗顔やうがい、室内の湿度を適切に保つなどの方法があります。春はともすると憂鬱な季節になります。気を抜かず、しっかり予防していきましょう。(S.S)

〈目次〉

今月のことば	1
卑弥呼の秘密	2～3
.....古井脳神経外科 院長 古井倫士	
長寿と健康	4
.....岩瀬内科消化器内科 名誉院長 三浦利重	
代謝と世界	5
.....はまだ代謝内科 院長 濱田洋司	
ワクチン・予防接種を受けましょう。(1)	6
.....セントラル小児科 院長 森 孝生	
なかなか止まらない咳の話	7
.....亀井内科・呼吸器科 院長 亀井三博	
栄 (SL 医療グループ) 近辺—44	8
学会発表内容でよく見る略語への不満	
.....森川クリニック 院長 森川建基	

卑弥呼の秘密

古井脳神経外科 院長 古井倫士



ある患者さんがしばらく振りに受診して開口一番「天気予報がよく当たるようになりました」という。最近のテレビ局はねた切れなのか予算不足なのかニュース番組で天気予報ばかりに時間をさくような気がしていたので、一瞬それに関する印象なのかと思ったが違った。片頭痛の治療で通っている彼女自身のことで、頭痛のする日の翌日には決まって雨が降るという意味であった。

片頭痛というのは多くの頭痛症のひとつで、頭部の血管（特に動脈）の伸び縮みが旨く行かなくなり、過度に拡張してときどき頭痛の起こる疾患である。頭痛はかなり激しいもので、走ったり階段を上ったりすると程度を増し、ときには嘔吐を伴うこともある。特段のきっかけなく起こる場合もあるが、不規則な睡眠、強い陽射し、飲酒などが誘因になることもある。低気圧もそのひとつとして知られており、患者さんは「低気圧が近づいてきますから明日は全国的に雨となるでしょう」と報じる天気予報の才をもっていることに気付いたというのである。彼女は続けて言った。「昔だったら巫女さんになれたね」と。

筆者は専門性から頭痛の患者さんを診る機会が多いことから頭痛の解説書を書く機会があり、余興として同病に悩んだ歴史上の人物をひとしきり穿鑿したことがあった。参考になりそうと見当をつけた書物を辿って現代からなんとか平安時代辺りまでは頭痛の話題をそれなりに探れたものの(SLニュースや拙書で紹介)、そのまえはわが国に絞れば史料として『風土記』『古事記』『日本書紀』があるのみで遡求を諦めて月日が経っていた。そこに「巫女になれるかも」と聴いたのである。

片頭痛は女性に多い。頭痛発作の誘因として男性にはない月経期における女性ホルモンの急激な低下も知られており、そのせいだけなのかどうかは断言できないが、片頭痛は女性が全体のおよそ2/3を占める。片頭痛は現代人だけが罹るわけではなく、『古事記』『日本書紀』の奈良時代に止まるはずもない。もっと遡った時代にあっても同病に苦しんだ古代人がいても不思議はない。

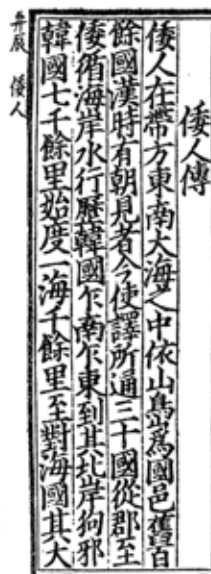
中国三国時代に続く晋の陳寿（233年～297年）によって編纂された『三国志』のうち魏の正史としてまとめられた『魏志』のなかにある「倭人伝」によれば邪馬台国は女王・卑弥呼によって治められており、彼女は政に際して鬼道を操って民衆を導くと伝えられる。

邪馬台国では稲作や養蚕が行われていたとの記述もある。農業の好不調は天候に左右される。幼い頃から卑弥呼は雨の降る降らないを的確に言い当て、その

評判は人々のあいだに広まった。天気予報だけで国をまとめられるわけではないだろうが、他の事柄についても確率からいって卜占もそれなりに当たったこともあっただろうから、託宣を感じとれる希有な存在としていつしか古代弥生時代の予言者とも呪術者ともいえる評価を得、国の王として祭り上げられることになったのではないか。彼女の名前もヒメミコ（姫命あるいは姫巫女）の当て字表現だとする説もある。

ならば、ひょっとして卑弥呼は片頭痛もちであったのかもしれない。男性社会であった弥生時代にあってなぜ女性の卑弥呼が王の地位にあったかの疑問が少し解けたような気がした。片頭痛では雨の予知ののち頭が激しく痛むはずだが、本人も取り巻きもそれは呪術に精魂込めた証だと思ったのかもしれない。そんな奇想が頭を過った。

紀元243年に卑弥呼が亡くなると男の王が立ったが国は乱れ、卑弥呼の長女の壹与ヒメがこれに替わって君臨することになったと「倭人伝」は記す。彼女は13歳であったという。片頭痛の患者さんの多



くは15歳ごろをピークにして初めて頭痛の発作に襲われるといわれる。また、患者さんの約50%は血縁にも片頭痛の既往があり、その約半数は母親だとされる。「倭人伝」は卑弥呼が独身であったと伝えるが、同時に壹与が長女だとも記す。いずれが正しいか判別できないが、もし壹与が卑弥呼の血縁なら、これまた片頭痛のため天候の予告に才があったのかもしれない。

低気圧が近づくとなぜ雨が降るのか。低気圧の中心に向かって風が（北半球では左向きの渦巻きとして）吹き込み上昇気流となって上空に昇る。上空はさらに気圧も気温も低いので空気は膨張し、その中の水蒸気は水滴となり雨として降り注ぐことになる。では、片頭痛の患者さんはなぜ低気圧に曝されると頭痛が起こるのであろうか。高山に昇ると呼吸のための胸郭の運動が円滑にできなくなるが、地上における低気圧ではそこまでの支障は生じない。問題なのは酸素濃度の低下ではないかと思う。

低気圧の定義は正常の1013ヘクトパスカルより気圧の低いものを指すのではなく、その周囲より相対的に気圧の低い場合の表現なのだが、正常より高いことはまずないので、たとえば1000ヘクトパスカルだとする。それは昨今（2024年）の銀行預金の利率よりは相当に高いものの1.3%ほどのわずかな低下である。気圧の低下に伴う空気中の酸素濃度の低下もさほどのことはないから、通常の人なら気がつかないはずだが、片頭痛に悩む人は違うのかもしれない。

脳に血液を送る頸動脈や心臓から伸びる大動脈弓の一部には頸動脈球および大動脈球と名づけられた組織があって、血液中を流れる酸素濃度が減少すると脳（幹）を介した脈拍の増加や血管の収縮によって血圧は上昇する。心臓から送り出される血液の量を増加させようとする反応である。通常なら銀行の利率ほどの変化ではっきりした反応を起こすことはないところ、たまたま動脈球が並より鋭敏であるとその反応が強く促される。なにごとにも限度というものがあって、その反応が強くかつ持続すると、今度は反動的として血管が拡張に転ずる可能性がある。脳の血管（動脈）が許容を超えて拡張すれば頭がずきずき痛むことになる。

あるいは、血中に溶け込む酸素が減少すると赤血球のヘモグロビンの酸素を運搬する力が低下（ヘモグロビン解離）するのだが、その程度が平均よ

り鋭敏で、質の低下を量で補おうとして流れる血液を増やすために血管が拡張するといった可能性も考えるべきかもしれない。

片頭痛の患者さんは大体において血圧が低い。前述したような酸素濃度の変化を感知する側の問題ではなく、それに反応する血管自体が鋭敏で拡張しやすいだけなのかもしれない。

いずれも、雨の予知にかぎった筆者の思いつきである。片頭痛では発作的になぜ激しい頭痛が起こるのかについては神経説、セロトニン説、三叉神経血管説などいろいろな説明が提唱されている。セロトニン説によれば片頭痛ではセロトニンという神経伝達物質が枯渇して脳の血管が不要に拡張するために頭痛発作が惹起されると説明され、その不足を補う薬剤が20世紀末に開発されて一定の効果を収めている。21世紀初めには三叉神経血管説を根拠にして似て非なる薬剤も開発されている。いずれも片頭痛において最終的に起こる脳の血管拡張を抑えて通常の鎮痛剤に勝る効果を発揮する。ただ、諸説によって片頭痛におけるすべての現象を説明しようとするとならばそれぞれに矛盾が生じる。

頭痛発作のきっかけは先に述べた雨の前日に止まらず、まえに列記したように強い陽射し、睡眠の過不足、土日の骨休め、飲酒、女性ホルモンの急激な低下などいろいろな状況も知られている。それらを含めて片頭痛におけるすべての頭痛発作を単一の機序で説明するのはなかなか難しい。最終的には頭部の血管が不要に拡張して特徴的な頭痛が惹起されるのだが、そこに至る機序は単一ではなく、不明な点の残された片頭痛症候群とでも呼ぶべき疾患なのかもしれない。

今回は片頭痛の説明を目的としていないので医学的な考察はこの辺までとして、要は弥生時代にも片頭痛に悩まされたヒトがいても全く不思議ではなく、患者さんの発言がきっかけになって卑弥呼が片頭痛もちであったかもしれないと思いついたという話である。いつの日にか苦悶状に頭を抱える土偶などが発見されれば頭痛の話題はさらに縄文時代まで遡られるのだが、さて.....



長寿と健康

岩瀬内科消化器内科 名誉院長 三浦利重

あこがれたのは長閑^{のどか}な生活でした。小学生の夏休みのような、退屈けど何一つ強制されない、自由な時間が山ほどある生活が望みでした。すでに70歳を過ぎていたからそんな生活も許されるような気がして、唐の時代の詩人や漱石の草枕の主人公の様に、浮世離れした、風景の中に溶け込むような生き方を試してみたかった。

老いてからの理想の実現には、健康が欠かせません。秦の始皇帝の様に、現代の長者たちも不老長寿の薬を必死に追い求めている。日本人はと言えば、全てはなるようにしかならないと達観し、世界の熱狂からはだいぶ距離を置いているようです。事実は、かなり深いところまで健康長寿の研究は進展しています。マウスによる実験では、NMN（ニコチンアミドモノヌクレオチド）という物質を1週間投与したところ、人間に例えると60歳の方が20歳に若返るほどの効果があったという。このNMNは日本でもサプリとして販売され、最も高いものは月に30万円もかかります。いったい誰が飲んでいるのか教えてよと思いますが。研究論文としては、糖尿病の発症期に、これを大量に投与するとその後の腎症の発病を予防できるというものや高齢者の筋力を改善するものなどいろいろあります。眼科では老化を逆行させて若返らせ、加齢に伴う様々な疾患を治療できないかと期待する向きもあるようです。NMNは老化を抑えるサーチュイン遺伝子（長寿遺伝子）を活性化することが分かっています。面白い事にこの長寿遺伝子は「命を弱らせない程度のストレス」によっても活性化します。アメリカではそのストレスを求めて、-110℃の特殊な装置内に1～3分留まることを繰り返す人たちがいるという。日本では、管理された1週間ほどの断食により、心身を整えつつ若返らせることを目指す人たちがいる。世界中で使われているある薬は、欧米では以前から健康長寿をもたらすのではないかと注目されていた。それを確かめるための大規模臨床試験が、サウジ

アラビアのヘボリューション財団の支援を受け1年前に開始された。この薬は非常に安価なので、もし健康寿命を延ばす効果が証明されれば、人類に大きな恩恵をもたらすと思われる。

次に日々の生活の工夫によって健康長寿を達成できないか考えてみましょう。夢を追うのは研究者に任せ、私たちは今すぐ誰にでもできる健康法に取り組みしましょう。大切なのは運動・食事・睡眠です。その前に、もしあなたが毎年健康診断を受けているなら、その結果に応じ、必要ならそれぞれの専門医を受診することです。面倒ではあっても、これは長寿・健康を目指すための大事な一歩です。

運動は誰もが手にできる安価で副作用もない最高の健康法であり、同時にほぼすべての慢性病に対し抜群の効果を発揮します。高価なサプリを求める前にまず実践してみましょう。ジムに通うのもよいのですが手軽なのは散歩です。60歳以下の元気な人なら、毎日8千歩以上歩くと病気になるにくく、突然死も少ないというデータがあります。60代70代なら4～7千歩、80代でも3千歩ほどが目安となります。食事は太りやすい中年期には腹八分がとても大事です。食前にキャベツなどを大量に食べることで、ご飯や麺類を減らし減量ができます。腸内環境を整え、病気になるにくく体を作るためにも野菜や海藻類（食物繊維）を積極的にとりましょう。高齢者には筋肉の衰えを予防するため納豆・豆腐・肉や魚などの蛋白質も（運動も）薦められます。不眠のため体重が減るときは神経科を受診してみるのも良いでしょう。

これらの事を実践してもなお何かが足りない。それは人との繋がりが生きがいでした。生きがいとは誰かのために動いてみることでしょか。私個人としては、週に2～3回の外来診療が最大の生きがいであり、多くの方に接し、少しでもお役に立てればと思うことで活力が湧いてくるのでした。

代謝と世界

はまだ代謝内科 院長 濱田 洋司

私のクリニックの名称にも入っている「代謝」という言葉は、生命体の中で物質がさまざまに変化していく様の総称です。例えば私たちが食べた一切れのパンは、多くの物質に姿を変えていき、体の材料となったりエネルギーを生み出したり、あるいは老廃物として捨てられたりするわけです。

私たちの体が利用可能な物質（栄養素）は必ず代謝を受けますが、その仕組みはとても複雑です。パンの話でいえば、含まれる栄養素の割合と食べる人の体の状態によってパンの運命が異なります。つまり食パン、菓子パン、調理パンなどの違いと、食べる人が空腹なのか満腹なのか、痩せているのか太っているのか、糖尿病や高脂血症などの有無、心身ストレスの強さ、腸内細菌の状態、など多彩な条件がパンの代謝を大きく左右するのです。

さらにはそれぞれの栄養素自体が体に働きかけてその代謝を変えるとという現象が起こります。例えば甘いものばかりを食べているとそれに合わせて酵素活性などが変化し代謝全体の流れが変わるように、栄養素と体は互いに相手を調節するという「相互作用」の関係にあるのです。

このように無数の要因が相互に影響しあって構築されているシステムを「複雑系」と呼びます。その高度な調節機能により、私たちは外界の変化に対応して命を保つことができるわけです。

私たちを取り巻く自然についても全く同じことが言えます。自然に存在するさまざまな要因が複雑な相互関係を作って世界のバランスを保っている。そこには無駄な存在はなく、全体として強固な恒常性を保持しているわけです。

その自然のバランスを崩す強力な要因になりうるのが人類だと言われ続けています。近年、人類が放出する温室効果ガスによる地球破滅説が世界の政治を動かしていますね。もっとも地球は長期的には寒冷化に向かっているという学者もいて、温暖化よりも身近な自然破壊の積み重ねの方が恐ろしいかもしれません。一つの例として、皆さんは「昆虫カタストロフィー」という言葉を聞かれ

たことはあるでしょうか。今、世界中で昆虫の減少が報告されていて、人類滅亡の引き金になりかねないと危惧されているのです。昆虫の数は人類よりも桁違いに多く、植物の受粉や分解、土壌の生成、多くの生物のエネルギー供給源としての役割など、自然界の循環において不可欠な存在です。自然界を人体に例えるなら、昆虫は主要な代謝物質であり酵素でもあるわけです。もしも昆虫が劇的に減ってしまったら、世界の循環はとまり植物も動物も生存できません。

さてもう一つ、複雑な相互関係で成り立っているものと言えば私たちの社会もそうですね。一人ひとりの直接的な繋がりは限られていますが、間接的な関係は無限大に広がります。最近、バタフライエフェクトという言葉をよく耳にしますが、もともとは気象学者が使った「一匹の蝶の羽ばたきが竜巻の遠因になる」という例えから転じて、「わずかな違いがシステム全体の状態を大きく変える」という意味で使われています。

例えば、あなたが道で転んだとしましょう。たまたま通りかかった女子高生が助けてくれました。立ち止まった彼女は、3分後に車に轢かれるはずだった運命から逃れ、大学に進学します。そこで知り合った男性が環境問題に熱心で、二人は結婚後に会社を設立、30年後には大企業に成長し世界の問題解決に大きく貢献する、などということがないとは限らない。大なり小なり、あなたは無意識のうちに社会に影響を与えているはずなのです。そして同時にあなたは全く知らない無数の人達から間接的な影響を受けている。そのような無限の相互関係の中で私たちは生きているわけです。ですから生命や自然と同じく、社会にも無意味な存在はないのだと思います。

そういえば今、私の目の前で我が家の猫達が爆睡していますが、一見何の役にも立たない無為徒食の彼らも、私が気づかないうちに世界を動かしているのかもしれないですね。

ワクチン・予防接種を受けましょう。(1)

セントラル小児科 院長 森 孝 生

ワクチン・予防接種の目的

ウイルスや細菌などの微生物が体内に入り、増殖することでその微生物特有の症状を発症する病気を感染症といいます。ある感染症に初めてかかると、体の中に抗体などが作られ、次に同じ微生物が侵入することを防ぐ働きができます。この働きを免疫といいます。この免疫のしくみを利用したものがワクチンです。特定の感染症にかかる前にワクチンを接種することによりその病原体への免疫(抵抗力)を作り出し、その病気にかかりにくくします。また、重症化することも防ぎます。まれにワクチン接種による発熱、発疹、接種部の疼痛・腫脹等の副反応が起こることがありますが、その感染症にかかるよりはずっと軽くて済みます。また他の人へ病気をうつす力もありません。

予防接種の普及により多くの感染症が減少してきたことをご存じだと思います。天然痘は世界中から撲滅されました。ポリオ(小児麻痺・急性灰白髄炎)も撲滅されると思われましたが、世界中でワクチンを拒否する地域があって、現在でも撲滅できていません。

弱毒生ワクチン(生)と不活化ワクチン(不)

病原体であるウイルスや細菌の病原性を弱めて病原性をなくしたのから作られた「弱毒生ワクチン」(生きたウイルスや細菌が体内で増殖して免疫力を高めていくため接種回数は少なく済む)と、病原体であるウイルスや細菌の感染する力を失くした(不活化)ものから作られる「不活化ワクチン」(自然感染や生ワクチンに比べ生み出される免疫力が弱いため、何回かの追加接種が必要)と、病原体となる細菌が作る毒素だけを取り出し毒性を失くして作られる「トキソイド」があります。最近(生)や(不)ではない、新型コロナウイルス感染症ワクチンのようなm-RNAワクチン(m)や、ウイルスベクターワクチンも作られ始めました。

予防接種等を接種可能時期順に簡単に説明します。

1. 0歳からの接種ワクチン

- ①シナジス(パリビズマブ)これはワクチンではありませんが、RSウイルス感染予防に用

いられます。RSウイルス感染症は呼吸困難など重症になりやすい未熟児等の特定の時期に保険診療として接種されます。

※昨年8月に②RSウイルスワクチン(不)が承認されており高齢者の肺炎予防が期待されます。また、今年1月に③RSV母子免疫ワクチン(不)が承認されました。今後は妊婦へのワクチン接種を行うことで出生児～乳児へのRSV感染予防が期待されます。

④B型肝炎(不)生後0月から11月まで(生後2月から8月が標準)に3回接種。B型肝炎と将来の肝がんの予防。

「母子感染予防(健康保険適用)」妊婦がHBs抗原陽性の場合、抗HBs人免疫グロブリンと組み合わせて、出生直後に接種を開始し、1カ月後と6か月後に追加接種します。出生時の母子感染(産道感染)を予防します。

⑤ロタウイルス(生)生後6週から2回、又は3回の経口接種の2種類のワクチンがあります(生後2月から14週が標準)。効果等に差はありません。白い下痢便が特徴的な胃腸炎を予防。

⑥ヒブ(インフルエンザ菌b型)(不)

⑦(小児)肺炎球菌(沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン)(不)4月から15価ワクチンになって、さらに予防効果が高くなりました。

⑥⑦とも、生後2月から6月までに3回+1歳から追加接種1回。死亡率の高い細菌性髄膜炎等を予防します。

⑧4種混合(DPT-IPV)(不)生後2月から3回+1年後追加接種1回。ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオの予防。

※日本でも今年の4月から④と⑥が1本になったワクチン⑨5種混合(DPT-IPV-Hib)(不)が始まります。

⑩BCG(生)生後0月から11月(5月から7月が標準)までに1回接種。結核を予防。

※紙面の都合で残り半分「2. 1歳からの接種ワクチン」以降は次号の掲載となります。

なかなか止まらない咳の話

亀井内科・呼吸器科 院長 亀井三博

のどの痛みで眼が醒める。やがて鼻水がはじまり、何となく身体がだるく、微熱がある。幸い翌日にはのどの痛みは軽くなり、鼻水も減ってきた。ほっとする間もなく咳が始まった。最初はのどの軽い咳であったのが、のどよりさらに奥の方から出る咳になり、ついには咳が一日中続くようになった。夜、横になると特につらく、なかなか眠れない。ようやく眠りにつけたと思ったら、何度も咳で眼が醒め、うとうとしているうちに、夜明けを迎える。いつか治るだろうと思っているうちに、いつの間にか一ヶ月以上咳と付き合っている、こんな経験をされたことはないでしょうか？ 今日はその咳の話をしていきましょう。

風邪の咳は、喉の炎症のため起こる比較的軽い咳で、1週間もすれば良くなります。炎症が息道の奥の方に起きているとつらい咳になります。ウイルスによって引き起こされることが多い急性気管支炎という状態です。これも大体1～2週間ぐらいで治まっていきます。しかし似たような咳ですが、もっと怖いのが肺炎です。のどいた、鼻水などはないのにいきなり咳が始まります。発熱も伴い、寒気で震えるときもあります。多くは細菌によって引き起こされる病気です。細菌による肺炎を治すためには抗生物質が必要となります。適切に抗生物質が選択されれば、肺炎も1週間前後で良くなります。心臓が悪くなってでる咳もあります。心臓に持病のある方が風邪でも無いのに咳がでて、夜も咳でつらい、歩くと息切れする時は要注意です。

風邪や急性気管支炎が、治ったあとも咳が続く場合があります。マイコプラズマあるいは百日咳にかかった場合、特に咳が長引きやすいようです。しかしそのような咳も通常は1～2ヶ月で治まっていきます。

1～2ヶ月を超えてもお咳が続く場合、一番多いのは咳喘息という。咳だけがつらい気管支喘息です。それに次ぐのはアレルギー性鼻炎など鼻の問題が原因の咳、三番目は逆流性食道炎です。

煙草を吸っておられる方では慢性閉塞性肺疾患と呼ばれる気管支に慢性の炎症があり、肺胞がたばこにより破壊される病気が長引く咳の原因となることがあります。又、数はそれほど多くはありませんが忘れてはならない病気があります。その筆頭は肺結核でしょう。その他、肺が硬くなり咳が出る肺線維症という病気もあります。肺がんが原因となる場合もあるでしょう。一部を除いて、きちんと診断し、適切に治療をうければ、いずれは良くなる病気ですので、咳が長引いていたなら、その重さに関わらず、かかりつけの先生に相談しましょう。

最後に長引く咳の筆頭、咳喘息についてお話しましょう。喘息といえば、夜中に発作を起こし、ゼーゼーいってとても苦しくなる病気という印象をお持ちの方が多いでしょう。しかし、咳喘息は、咳だけが続き長引く病気です。特に季節の変わり目に、何のきっかけもなく咳が始まることが多いのですが、風邪やコロナにかかったことがきっかけになることもあります。喘息と言われると不安になると思いますが、実は長引く咳の中で一番治しやすいのが咳喘息です。気管支の炎症を改善し、気管支を広げるお薬を毎日吸入して頂くと、とてもつらかった咳が徐々によくなり、夜眠れるようになり、ほぼ1週間でほとんど咳は無くなっていきます。もちろんそれでも良くならない方はある程度おられます。さらに別の吸入薬を加えたり、飲み薬を加えたりしていけば必ずよくなります。時には咳喘息に加えて、胃液の逆流がのどを刺激したり、鼻水がのどに降りたりなど、複数の要因がからむこともあります。そのような場合は、咳喘息の治療に、これらの治療を加えることで良くなっていきます。

今回、一番お伝えしたいことは、どんなにつらくて長引く咳でも、どうして咳が出ているか考え、治療していけば、いつか必ずよくなるということです。諦めず、かかりつけの先生と一緒に咳が無くなる日を目指しましょう。

栄 (SL 医療グループ) 近辺 - 44 学会発表内容でよく見る略語への不満

一昨年ではてんかん学会で最年長での (75 歳) 一般演題発表をして来ました。演題は「VNS 術 (難治てんかんに対する迷路神経刺激術) の効果」です。筆者はこの新しい治療例数が日本で 24 例と最大です。

本治療法は極めて有効で、会場の先生方にも興味を持って頂けたようです。なおこの“VNS”は vagus nerve stimulation の略称です。さて、この略称表記について、以下問題点を述べます。


最近の学会では上記のような正式名称を付加説明する事なくいきなり、“ABC 機能の DEF

作用は、まさに GHIJK を背景とした LMN による OPQR 効果によるものです”などなどです。

若い専門家にとっては当たり前の略称かも知れませんが、しかし年寄りの私などにはチンプンカンプンで、次第に腹が立ってきます。

そこで今後は「略語」の正確な名称を、前もって必ず説明するよう学会に強く申し込みたいと考えています。

森川クリニック 森川 建基



エスエル医療グループ

<http://www.sl-medical.gr.jp>

栄・中日ビル北斜向い
中区新栄町1-3 ☎951-3833

すぎやまレディスクリニック 院長 杉山 正子 ☎971-0930	はまだ代謝内科 院長 濱田 洋司 ☎957-3701	古井脳神経外科 院長 古井 倫士 ☎951-2223	服部内科クリニック 院長 服部 正樹 ☎962-8500
吉田内科 院長 吉田 修 ☎951-0321	古澤整形外科 院長 古澤 久俊 ☎954-0335	亀井内科・呼吸器科 院長 亀井 三博 ☎951-2577	森川クリニック 院長 森川 建基 ☎961-1709
セントラル小児科 院長 森 孝生 ☎971-6237	中川内科 院長 中川 順市 ☎951-7532	さかもと内科腎クリニック 院長 坂本いずみ ☎961-2061	はっとり整形外科リウマチクリニック 院長 服部 陽介 ☎228-1901
岩瀬内科・消化器内科 院長 岩瀬 弘明 ☎951-1255	栄かとうクリニック 院長 加藤 泰久 ☎961-3001	夏目泌尿器科 院長 夏目 紘 ☎971-5715	どい眼科クリニック 院長 土井 浩史 ☎211-9577
渡辺クリニック 院長 渡辺 正樹 ☎955-5060	恒川内科 院長 恒川 誠 ☎951-1265	やまうち消化器内科クリニック 院長 山内 学 ☎957-2488	おおいわ消化器クリニック 院長 大岩 哲哉 ☎959-5560
磯部内科クリニック 院長 磯部 智 ☎971-0515	おの内科 院長 大野 秀樹 ☎971-0950	セントラル皮膚科 院長 坪根 幹夫 ☎973-0495	たまい眼科ほのほのクリニック 院長 玉井 浩子 ☎955-8090
第一歯科医院 院長 高木 昭英 ☎951-1355	山川内科 院長 清水 周哉 ☎951-1211	すずき呼吸器クリニック 院長 鈴木 清 ☎265-7250	関谷耳鼻咽喉科 院長 関谷 健一 ☎951-7799
SL外科・乳腺クリニック 院長 伊藤 由加志 ☎971-6269	岡神経科 院長 岡 潔 ☎955-1606	金子内科 院長 金子 晴生 ☎971-5801	サカエきこえの相談室 ☎961-4133
栄内科 院長 山田 琢之 ☎955-8020	仲尾歯科 栄診療所 院長 仲尾 泰彦 ☎963-4182	こんどう女性クリニック 院長 近藤 育代 ☎951-0500	